

守屋美穂選手が西日本豪雨災害被災地へ寄付

11月、芦屋で開催されたレディースチャレンジカップで見事に優勝した守屋美穂選手。守屋選手にとっては女子のビッグレース初制覇で、年末のクイーンズクライマックスには4位で進出。まずはそのレースを振り返ってもらいました。「モーターが出ていました。勝率よりも良くて、男子選手の中に入っても遜色ないパワーがあったと思います」

そして大一番直前の戸田オールレディースでも優出。準優6号艇からベスト6入りを果たしました。「仕上がりが良かったとは言えないけど、当日、急な気象条件の変化にも対応ができました。悪いなりにもめぐりあわせが良くなって、リズムも合っているような気がします」

この号が出ている頃には、クイーンズクライマックスの結果は出ていますが、このリズムの良さを活かして、きっと好結果が出たことでしょう。

そして来年3月、児島で行われるレディースオールスターのファン投票についても、こんな感想を述べてくれました。

「ファン投票してくださったみなさま、本当にありがとうございました。昨年よりも順位も票数も上がって本当に嬉しいです。とくに投票数は去年の倍くらいだったので、レースでは去年の倍以上、頑張りたいです」

そんな守屋選手が、西日本豪雨災害義援金として50万円、倉敷市に寄付をされました。

「たくさんの方がボランティアに来てくださって、とてもありがたいと思っています。自分自身は忙しくてなかなか行けないので、寄付という形で力になりたかった。真備地区では、避難所は閉鎖されましたが、街の再建という点ではまだまだこれからという状況です。被災した方から、『子供たちがとても怖い思いをした』と聞いて、私もひとりの母親として非常に辛い思いでした。私はボートレーサーとして、目の前のレース、一歩一歩をしっかりと走ることしかできませんが、いい結果を出すことで被災された方を含めて、ご苦労されたみなさまに少しでも元気を届けたいと思っています」

守屋選手から頂いた義援金は、倉敷市の被災者支援のために使わせていただきます。

ボートレース児島は、被災されたみなさまのご健康とご安全を心からお祈り申し上げ、一日も早い復旧・復興を応援してまいります。

